

市長定例記者会見報告事項概要

令和5年8月30日(水) 午前11時00分～

1. 令和5年9月市議会定例会の議案概要について

(1) 議案第62号、議案第63号「令和5年度9月補正予算(案)」

災害対策関連(議案第62号)、その他(議案第63号)としている。

①災害対策関連事業

- 6月30日(金)から7月10日(月)にかけて、2週続けて見舞われた大雨による災害の復旧費として、2,600万円を計上している。
- また、市内で局地的に豪雨が降ることがあるため、新たに、小野、富海、大道の3つの公民館に、雨量計を設置する。
- 加えて、これから台風シーズンを迎える中で、災害があった場合に早急に対応できるよう、災害復旧枠を設定することとし、1億円を計上している。
- 合わせて1億2,900万円を計上し、初日に議決をいただきたいと考えている。

<物価高騰・人手不足対策>

先日開催した中小企業振興会議や産業戦略本部においても、多くの方から、人手不足や2024年問題にどのように対応するのかという声をいただいた。このような中、対策を講じたいと考えている。

②市内事業者等生産性向上設備導入緊急支援事業

- 5月の市議会臨時議会で、物価高騰対策の予備費として計上した1億円を活用し、支援事業を創設する。
- 中小企業、小規模事業者や、農家、介護など様々な分野の事業者を対象とする。対象設備は、省力化ロボットなど様々なものを想定している。

補助率は対象事業費の3分の2、上限額100万円で、1億円を計上している。

- 生産性の向上に繋げることが、大きな課題となっている。賃金向上にも繋がるものと考えている。
- なお、事業者によっては新年度に事業を実施されることがあると想定し、繰越明許費を設定し、4月以降も申請可能とした。

③運転手確保緊急対策事業

- 現在好評を博している「夜間タクシー」など、公共交通を拡充しようと思っても、運転手不足が大きな課題となる。また、トラック業界においても同様で、2024年問題も喫緊の課題である。
- トラック、バス、タクシーといった輸送業界は、様々な業界に影響を及ぼすため、緊急対策として、これらの事業者が、運転手を一人新たに雇用される場合は20万円、また、免許を持っていない人を雇用し、免許を取得させる場合は、更に10万円を加えて30万円を支援する。
- なお、現在実施している「低燃費タイヤ導入支援事業」については、申請期間を11月までとしていたが、令和6年3月末まで延長する。

<子ども・子育て支援>

④子ども医療費無償化対応事業

- 6月議会において、来年の10月から、子ども医療費の助成について、「小学生まで」から「高校生まで」に拡充すると申し上げた。
- この実施に伴いシステム改修が必要であるため、その経費として400万円を計上している。

⑤小・中学校トイレ洋式化事業

- 同じく6月議会で答弁させていただいたとおり、今年から3年間で、小・

中学校の、基本的にすべてのトイレを洋式化する。低学年については今年度中、小学3年生から中学3年生までは令和6、7年度に分けて実施する。国費確保の状況もあるため、3か年での実施とさせていただく。

- 国の児童手当の拡充、市の医療費助成の拡充や、物価高など、今後、財政がひっ迫する恐れもあるため、来年度以降の財政運営に支障をきたさないよう、令和6、7年度の、国庫と交付税措置のある地方債を除いた残りの一般財源について、令和4年度からの繰越金を活用し「公共施設等整備基金」へ積立てることで、他の施策に影響を与えないようにする。

<その他>

⑥インボイス制度相談体制

- 10月からインボイス制度が導入されることから、コネク22内に商工会議所が新たに設置する相談窓口において、税理士等による相談を受け付けることとし、100万円を計上している。

⑦債務負担行為

- 新庁舎での令和7年1月からの業務開始に向け、備品の購入や引越しを行うため、庁舎備品整備や庁舎移転事業として、合わせて、5億200万円の債務負担行為を設定している。
- 補正予算の財源については、国庫支出金が4,500万円、地方債が1億3,100万円、その他負担金等が1,300万円、一般財源が4億3,200万円となっている。予備費として、5月臨時議会にて計上させていただいた1億円を活用させていただく。

(2) 主な議案（補正予算以外）

- 議案第72号 防府市漁業集落排水処理施設設置及び管理条例及び防府市水道事業、工業用水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例中改正については、漁業集落排水事業について、地方公営企業法の規定の全部を適用させ、当該事業を上下水道事業管理者の執行する業務とするため、所要の改正をするものである。
- 認定第1号は、令和4年度防府市一般会計ほか8特別会計の決算についてである。一般会計の令和4年度決算の実質収支は、過去最高の約20億円となった。この内、半分の約10億円は法定により財政調整基金に積み立てることとなっており、残り10億円の内、約6億円は国・県への返還金で、最終的には約4億円が補正予算の財源となる。
- このたびの補正予算では、この残額の4億円をほぼ全額活用させていただき、各種対策や基金への積み立てに充てる。
- 第2号は、令和4年度防府市上下水道事業決算の認定についてである。
- 推薦第2号 人権擁護委員候補者の推薦については、人権擁護委員のうち、2名の任期が令和5年12月31日で満了するため、議会の意見を求めるものである。
- 報告については、防府地域振興株式会社の経営状況報告の他、9件である。

2. 「まるごとまちごとハザードマップ」お披露目について

- 9月1日は「防災の日」である。関東大震災から100年の大きな節目を迎える。
- 過去の災害を忘れることなく、防災の備えを日頃から積み重ねることが大切である。

- こうした中、防災への意識を高めることを目的に、小・中学校や公民館に、ハザードマップに記載されている浸水深を示した標識を設置した。
- その標識のお披露目と、それに併せた防災学習を、来月6日（水）に、向島小学校で実施する。
- 今後、10月にかけて、各小・中学校で、順次標識を活用した訓練を実施する。
- これから台風シーズンを迎える。引き続き緊張感を持って取り組んでいく。

3. 令和6年度新一年生への通学用かばん贈呈について

- 本市では、今年度から、小学校へ入学する新1年生に本市独自の安全・安心なかばんを贈り、本市の未来を拓く子ども達を支援することとしている。
- 令和5年度の新一年生には、年が明けてからの贈呈となったが、一日も早くお渡したいと考え、来年度入学予定の児童には、「就学時健康診断」において、順次、お贈りすることとした。
- 来年の春に入学する子ども達が、一人でも多くこのかばんを背負って小学校へ登校する姿を楽しみにしている。

4. 令和5年度「市内一周駅伝」と「防府市二十歳のつどい」の開催時間変更について

- 毎年1月の同日に「防府市二十歳のつどい」と、「市内一周駅伝」を開催している。
- 昨年から、防府読売マラソン大会が午前中のスタートになったことから、「市内一周駅伝」も、今年度から午前中のスタートで開催したいと考え

ている。

- 「二十歳のつどい」は、近年は午前、午後の二部開催も行っていましたが、午後からの開催にさせていただく。
- この変更によって、駅伝に出場される市民の皆さまには、爽やかな風の中で走っていただける。また、二十歳のつどいに参加される皆さんは、これまでよりも余裕をもって支度していただけると考えている。
- これから、関係各界と連携しながら、しっかりと周知していく。

5. 観月会「毛利家で繋ぐお月見～よしみ・詛～」について

- 秋の名月をお楽しみいただくため、毎年、英雲荘で月見の夜間公開を行っている。
- 今年は、毛利邸を含め、9月から11月にかけて観月会を3回開催する。
- 第一弾と第二弾は、英雲荘で、締めくくりの第三弾は、毛利邸で開催し、観月会の最後を盛り上げたい。
- 第一弾となる十五夜の催しは、9月29日（金）から10月1日（日）の3日間、英雲荘で音楽を3夜連続でお楽しみいただく。
- また、第二弾の十三夜では、英雲荘で高校生による音楽演奏やライトアップを、そして、第三弾の十日夜では、毛利邸の大広間で、「音楽のまち防府創造プロデューサー」の田中雅弘氏による音楽演奏で、観月会のクライマックスを迎える。
- なお、三度の月見に全てお越しいただいた方には、素敵な記念品をご用意している。
- 是非、毛利様ゆかりの場所で、普段見ることができない、幻想的な雰囲気をお楽しみいただきたい。